

楽しみながら「防犯」が身に付き「運動能力」も向上する
新感覚の「防犯」＋「スポーツ」教室

防犯スポーツプロジェクト導入に関するご提案

子ども達の防犯知識と運動能力を向上させるプロジェクト

川崎市で起こったバス待ちの児童に対する大量殺傷事件など子どもに関する事件の報道が多々あります。公的な部分でも、地域や学校・幼稚園なども防犯に関して力を入れているのに…という話をよく耳にしますが、子どもが犯罪に巻き込まれる件数はなかなか減少しません。

これらの原因はどこにあるのでしょうか？

ひとつは「防犯」についての知識不足や疑似体験不足です。

もうひとつは「子ども達の体力低下」だと考えています。

防犯の知識が無いから犯罪に巻き込まれやすい子になってしまっているケースや、まだ自立していない子供なのに 親が防犯知識を持たずに、無防備に外に出してしまっているケースなどが多々見受けられます。さらに、防犯指導を受けているのに、体力が無かったり、運動能力が低くて連れ去られるケースも多々あります。

危ないと感じたら「大声を出して走って逃げなさい」と言われていても、実際にやった事がないので、いざという時に声が出なかった子ども達もたくさんいます。

このプロジェクトは、参加者の年齢に合わせた「防犯知識と運動能力を向上させつつ、楽しみながら犯罪に巻き込まれない子ども達を創る」プロジェクトです。

犯罪のシチュエーションを疑似体験しながら、「防犯指導」と「スポーツ指導」のプロがタッグを組んで作りだしたプログラムです。

新聞、雑誌、ラジオなどでも注目しつつある「防犯スポーツプロジェクト」堅苦しいセミナー型でなく、子ども達も体を動かし楽しみながら防犯の知識を得る「体験型」の新感覚プログラム「防犯スポーツプロジェクト」の導入を是非一度ご検討下さい。



■プログラム概略■

プログラム名：防犯スポーツプロジェクト

実施場所：小学校の体育館やグラウンド、公園（できれば屋内が望ましい）

20m以上の直線がとれる場所を希望

実施時間：90分程度が望ましい

体験イベントで30分などのプログラムもありますが、90分程度を設定してしっかりと防犯の基礎知識をつけていただきたいと思います。

小学校の授業での導入の場合は2時限で行うとベストです。

実施体制：■防犯部分の説明者：NPO法人ファンズアスリートクラブのメンバー

子ども防犯アドバイザー・S級防犯診断士などの有資格者

■スポーツ部分の指導者：特定非営利活動法人ファンズアスリートクラブメンバー

日本体育協会公認スポーツリーダーやコーチ資格保有者

■アスリート参加型：川崎新田ボクシングジム 他

実施種目：以下の中からいくつかを選択し行います

- 大声ランニング**：「助けて」と大声を出しながらジグザグに走る練習です。
大声を出しながら走る方法や、短距離が速くなる方法を指導します。
- バックスチール**：ランドセルなどで後が死角になる子ども達に背後の意識と敏捷性を養う練習。リュックサックを背負い、敏捷性を高めるトレーニングを行います。
- ふりはらいスタートダッシュ**：手をつながれたり、後ろを持たれている状態からスタートダッシュする種目。フェイント的な動きからステップワークなどをトレーニングします。
- すり抜けラン**：5m先の待ち構えている人をすり抜けて走る練習です。ミラートレーニングなどを行い、ボールスポーツにつながる走り方も伝授します。
- ナンバーチェックラン**：走って移動するものにつけられた4桁のナンバーを記憶する練習です。

■導入に関して■

参加者は、30名～100名程度の園児・児童を対象にしていますが、親子参加の教室も対応しております。幼稚園、小学校、PTA、学童、市民団体、自治会や町内会などからのお問い合わせをお待ちしております。この防犯スポーツプロジェクトは、「ボーダレス・スポーツ・プロジェクト」の一環として行っています。（詳細は>>> <http://www.bl-sports.net>）

■当プログラムに関するお問い合わせは■

NPO法人ファンズアスリートクラブ

神奈川県川崎市宮前区菅生 6-21-1 レインボー向ヶ丘 1

TEL 070-6401-9223 FAX 044-872-8641